



Koganei
ORIGA

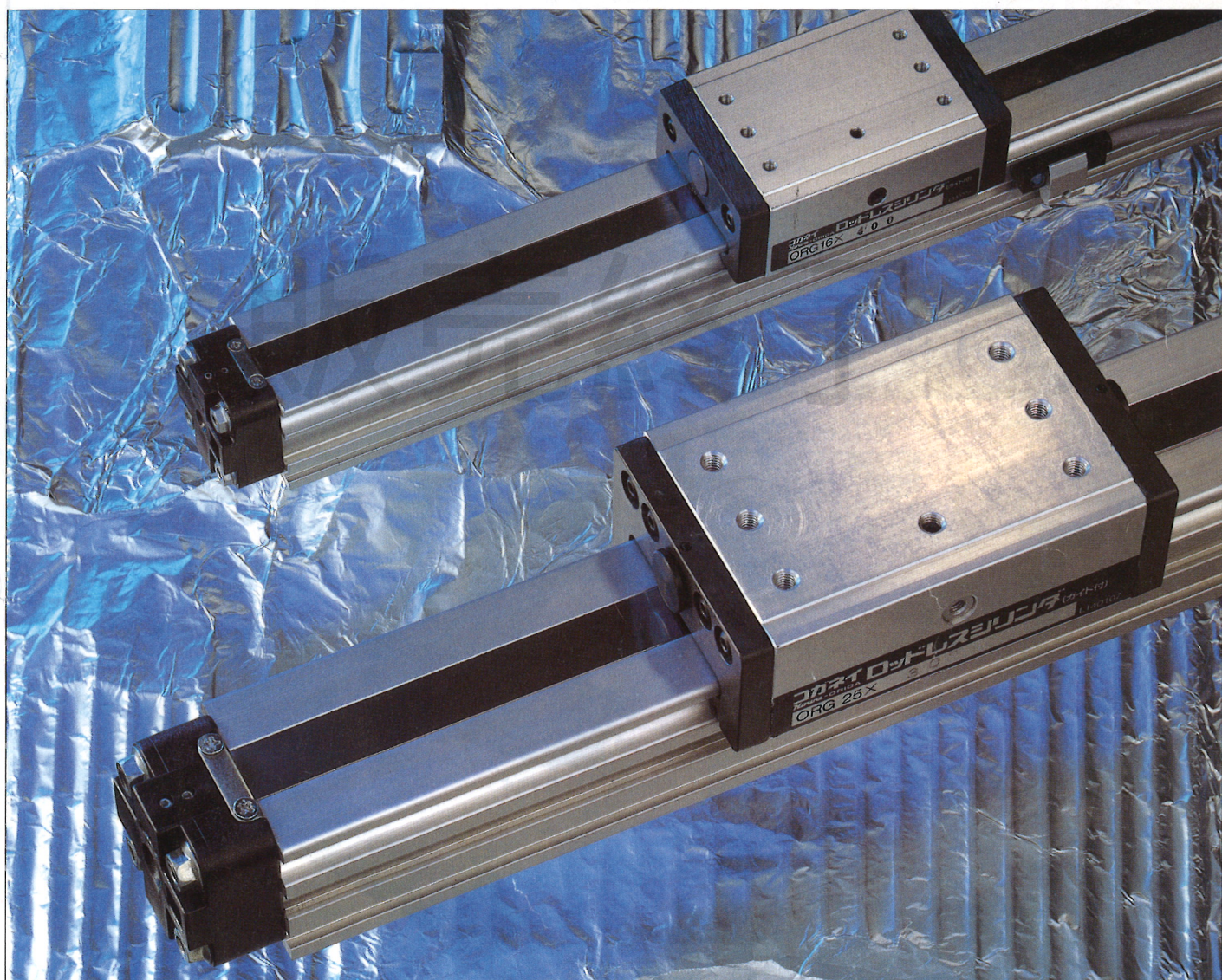
ガイド付ロッドレスシリンダ **ORGシリーズ**

スライダとシリンダチューブで、直接荷重や高い曲げモーメントに耐えるガイドを構成。

シリンダはφ16, φ25, φ32, φ40。

最大5000mmのロングストロークをカバーし、機械装置の省スペース化やシンプル化を実現。

NEW
Products



コガネイ ガイド付ロッドレスシリンダ

Howa
ORIGA

ORGシリーズ

1. ガイド機能を一体化

スライダとシリンダチューブでガイドを構成。

高い曲げモーメントに耐え、直接荷重がかけられるので、外部ガイドが不要。

機械装置をシンプルかつ小形化し、設計や組立ての工数を大幅に削減。

2. ロングストローク、省スペース

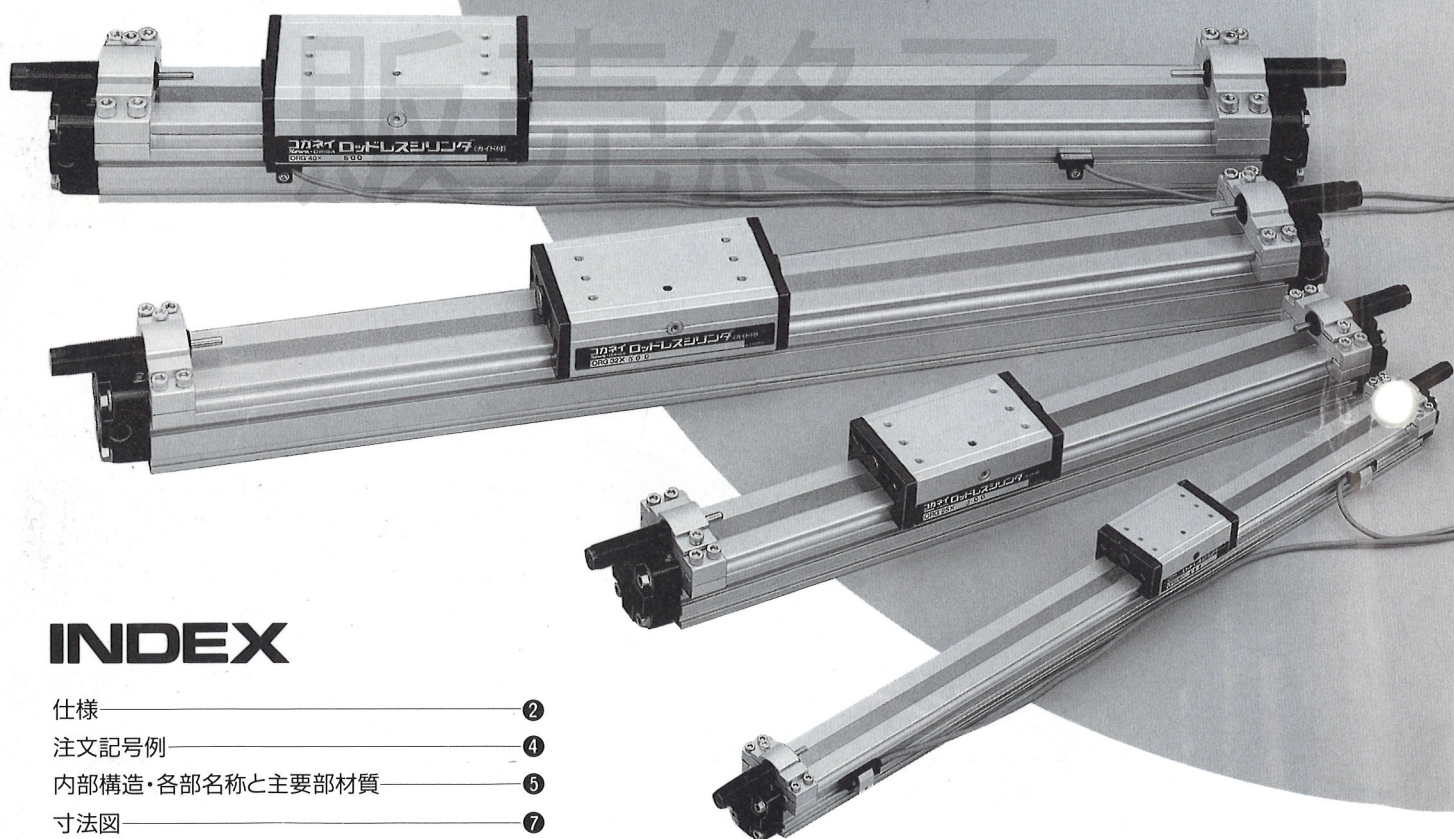
最大ストロークはφ16が3000mm、φ25～φ40が5000mm。

いずれもシリンダの全長をフルストロークして、搬送装置などの大幅な省スペース化を実現。

3. ストローク調節、高速作動に対応するオプション

高速作動時のストロークエンドでの衝撃をソフトに吸収し、全域にわたるストローク調節を可能にするショックアブソーバがオプション。

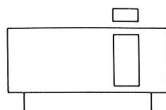
停止位置微調節用のストローク調節ボルトや、センサスイッチなどを用意して、使いやすさを一層充実。



INDEX

仕様	2
注文記号例	4
内部構造・各部名称と主要部材質	5
寸法図	7
ORG16⑦	
ORG25⑧	
ORG32⑨	
ORG40⑩	
センサスイッチ	11
取扱い要領と注意事項	14

表示記号



仕様

項目	シリンダ径mm	16	25	32	40
作動形式		複動形			
使用流体		空気			
使用圧力範囲	kgf/cm ² {kPa}	1.5~8{150~800}			
保証耐圧力	kgf/cm ² {kPa}	12{1200}			
使用温度範囲	°C	0~60			
使用速度範囲	mm/s	100~1000			
クッション	標準	可変クッション (ストロークφ16:15mm, φ25:17mm, φ32:25mm, φ40:32mm)			
	オプション	ショックアブソーバ付			
給油		要注 ¹			
ストローク 調節範囲 ^{注2} mm (仕様ストロークに 対して片側)	ショックアブ ソーバ付 (オプション)	全ストローク任意および 微調節0~15	全ストローク任意および 微調節0~20	全ストローク任意および 微調節0~30	
	ストローク調 節ボルト付 (オプション)	0~3 (ストロークエンド 微調節のみ)	0~5 (ストロークエンド 微調節のみ)	0~8 (ストロークエンド 微調節のみ)	0~10 (ストロークエンド 微調節のみ)
ストローク公差 mm	1000以下	+1.5 0	+2 0	+1.5 0	+2 0
	1001~3000	+2 0	+3 0	+2 0	+3 0
	3001~5000	—	+4 0	+2.5 0	+4 0
配管接続口径		M5×0.8	Rc1/8	Rc1/4	

注1:ただし、シリンダ速度が500mm/s以下の場合は不要です。推奨油については⑩をご覧ください。

2:詳細については⑪、⑫をご覧ください。

3:センサスイッチの仕様については⑬をご覧ください。

ショックアブソーバ仕様

● オプション

項目	形式	KSHF6×10	KSHF8×12	KSHF10×18	KSHF12×22
適応シリンダ		ORG16	ORG25	ORG32	ORG40
最大吸収能力	kgf・m	0.3	1.0	2.0	3.0
吸収ストローク	mm	10	12	18	22
最大衝突速度	mm/s	1000			
最高使用頻度	cycle/min	60			
スプリング戻り力 ^注	kgf	1.0	1.04	1.36	1.66
偏角度		3°以下			
使用温度範囲	°C	0~60			

注:圧縮時の値です。

シリンダ径とストローク

mm		
径	標準ストローク	製作可能ストローク範囲
16	100～800 (50とび)	0～3000
25	200～1000 (50とび) 1000～2000 (100とび)	0～5000
32		
40	300～1000 (50とび) 1000～2000 (100とび)	

備考：中間ストロークは、1mm毎に製作可能です。納期についてはご相談ください。

推力

kgf								
シリンダ径 mm	受圧面積 cm ²	使用圧力 kgf/cm ²						
		2	3	4	5	6	7	8
16	2.01	4	6	8	10	12	14	16
25	4.90	9	14	19	24	29	34	39
32	8.04	16	24	32	40	48	56	64
40	12.56	25	37	50	62	75	87	100

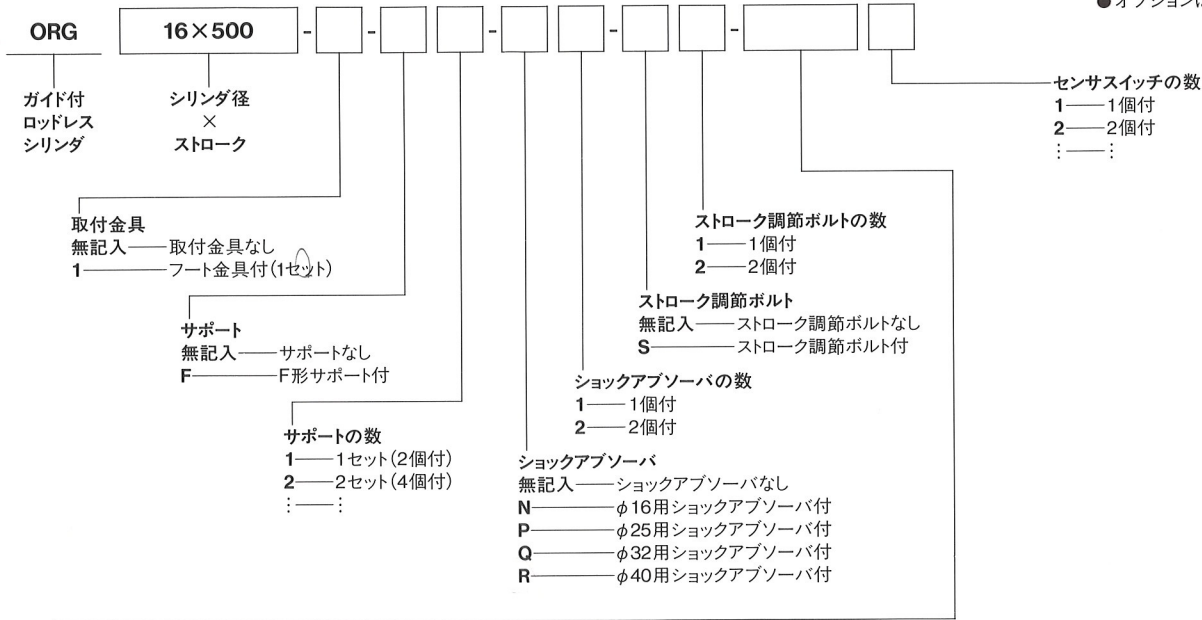
重量

kgf								
シリンダ径 mm	ゼロストローク重量	ストローク 1mm毎の 加算重量	加算重量					
			フート金具	F形サポート	ショックアブソーバ (ホルダ付)	ストローク調節ボルト (ホルダ付)	センサスイッチ(ホルダ付)	
							無接点タイプ	有接点タイプ
16	0.36	0.0013	0.008	0.004	0.042	0.034	—	0.03
25	1.08	0.0027	0.03	0.03	0.12	0.10	0.04	
32	2.34	0.0047	0.05	0.04	0.22	0.17		
40	2.46	0.0054	0.09	0.06	0.42	0.35		

計算例：ORG40×500に、フート金具、ショックアブソーバ付の場合は、
2.46+(0.0054×500)+0.09+0.42=5.67kgf

注文記号例

●オプションはすべて添付となります。



センサスイッチの形式(センサスイッチ付の場合)
φ16用

センサスイッチ形式		負荷電圧	負荷電流	タイプ	動作表示灯
リード線1.5m	リード線3m				
CS3U	CS3UL	DC10~30V	10~50mA	有接点タイプ	付
		AC85~115V			
		AC115~230V			
CS4U	CS4UL	DC10~30V	5~25mA	有接点タイプ	付
		AC85~115V			
CS5U	CS5UL	DC3~30V	0.1~60mA	なし	なし
		AC85~115V			

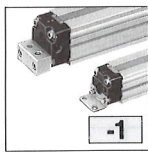
φ25, φ32, φ40用

センサスイッチ形式		負荷電圧	負荷電流	タイプ	動作表示灯
リード線1.5m	リード線3m				
CS9H	CS9HL	DC4～28V	150mA MAX	無接点タイプ	付
CS3H	CS3HL	DC10～30V	10～50mA	有接点タイプ	
		AC85～115V			
CS4H	CS4HL	DC10～30V	5～25mA		
		AC85～115V	5～20mA		
CS5H	CS5HL	DC3～30V	0.1～60mA	なし	
		AC85～115V	2～25mA		

●ガイド付ロッドレスシリンダにはあらかじめマグネットが装備されていますので、センサスイッチを取り付けるだけでセンサシリンダとしてご使用になれます。

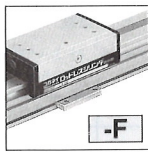
オプション

取付金具



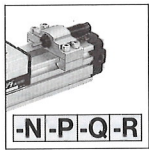
-1

F形サポート



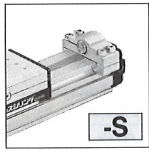
-F

ショックアブソーバ



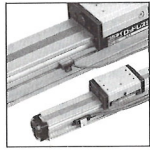
-N-P-Q-R

ストローク調節ボルト



-S

センサスイッチ



アディショナルパーツ(別売部品)

●ショックアブソーバ(ホルダなし)

- φ16用……KSHF6×10
- φ25用……KSHF8×12
- φ32用……KSHF10×18
- φ40用……KSHF12×22

●ストローク調節ボルト(ホルダなし)

- φ16用……S16
- φ25用……S25
- φ32用……S32
- φ40用……S40

●ホルダ

- φ16用……BL16
- φ25用……BL25
- φ32用……BL32
- φ40用……BL40

●ホルダはショックアブソーバ取付用、ストローク調節ボルト取付用とも共用です。

●センサスイッチ

ホルダなし……

CS9H

ホルダ付……

CS9H

ホルダ付

G16——φ16用

J——φ25, φ32, φ40用

リード線長さ

無記入——1.5m

L——3m

センサスイッチ形式

CS3U

CS4U

CS5U

CS9H

CS3H

CS4H

CS5H

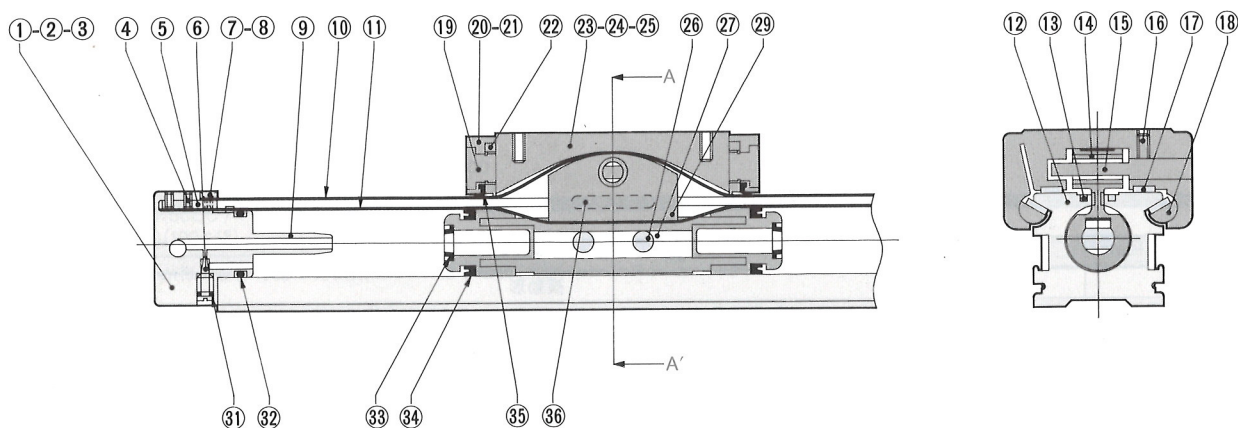
——φ16用

——φ25, φ32, φ40用

●センサホルダのみ

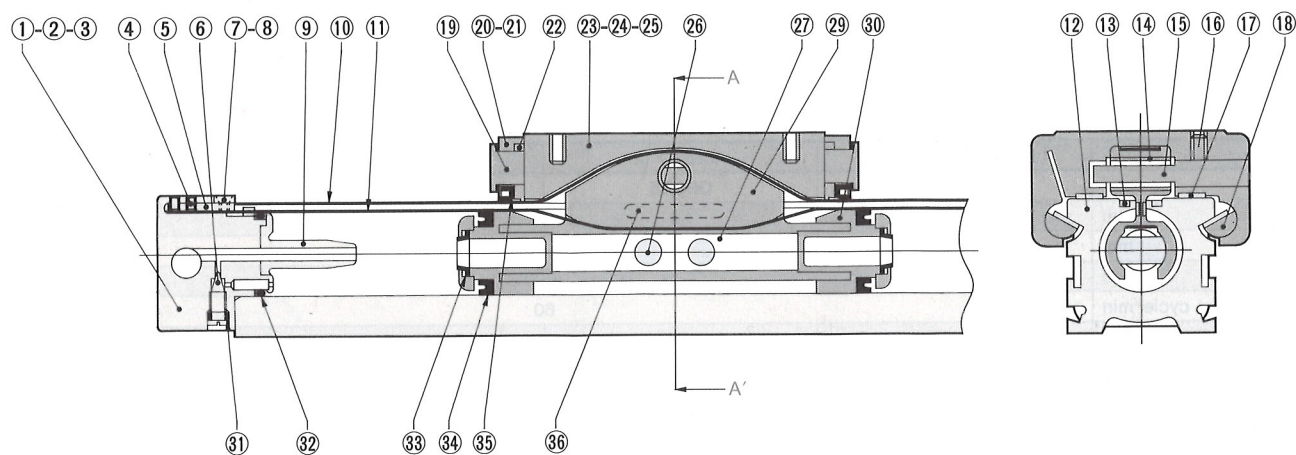
U-G16(φ16のみ)

ORG 16

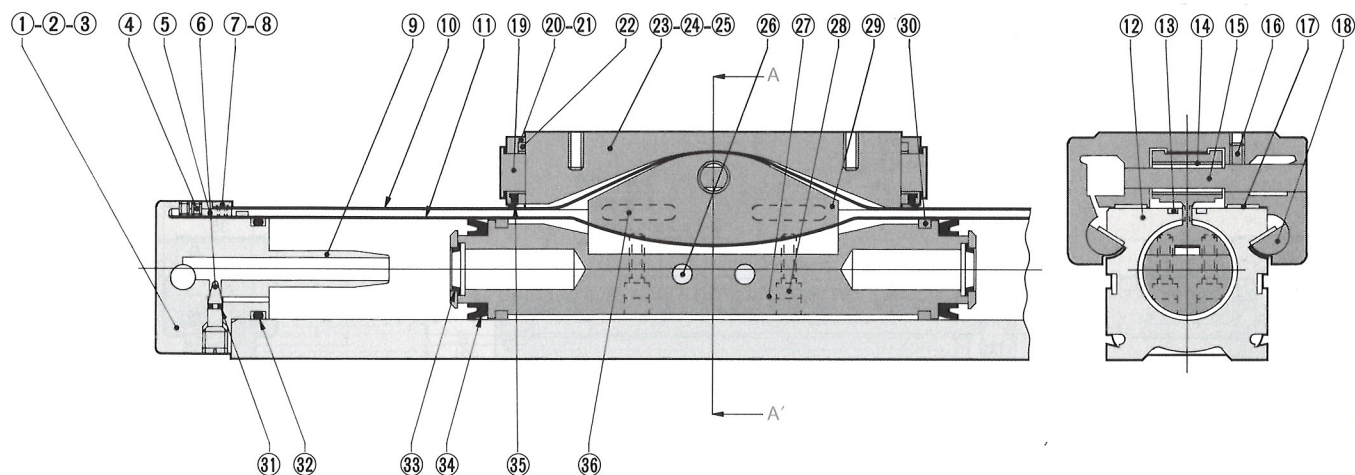


販売終了

ORG 25 ORG 32



ORG40



各部名称と主要部材質

No.	名 称	材 質	数量	備 考
①	エンドカバーR	ポリアセタール	1	φ16,25のみ
		アルミ合金(アルマイト処理)		
②	エンドカバーL	ポリアセタール	1	φ16,25のみ
		アルミ合金(アルマイト処理)		
③	エンドカバー固定ボルト	合金鋼	8	
④	インナシールバンド止めねじ	合金鋼	4	六角穴付止めねじ
⑤	インナシールバンドロック	鋼	2	
⑥	クッションニードル	黄銅	2	φ40のみ
		鋼		
⑦	アウトシールバンド止めねじ	鋼	4	十字穴付さら小ねじ
⑧	アウトシールバンドロック	鋼	2	
⑨	クッションパイプ	ポリアセタール	2	φ16,25のみ
		アルミ合金(アルマイト処理)		
⑩	アウトシールバンド	ステンレスクロム鋼	1	
⑪	インナシールバンド	ステンレスクロム鋼	1	
⑫	シリンダチューブ	アルミ合金(アルマイト処理)	1	
⑬	マグネットストリップ	ゴムマグネット	2	
⑭	ブッシュ	鋼(軟窒化処理)	1	
⑮	キャリアピン	合金鋼	1	
⑯	キャリアピン止めねじ	合金鋼	1	六角穴付止めねじ
⑰	ガイドプレート	充填剤入りPTFE複層	4	
⑱	ガイドシャフト	亜鉛合金(クロメート処理)	2	φ16のみ
		アルミ合金		φ32のみ
		ポリアセタール		φ25,40のみ
⑲	ストライカー	合金鋼(軟窒化処理)	2	

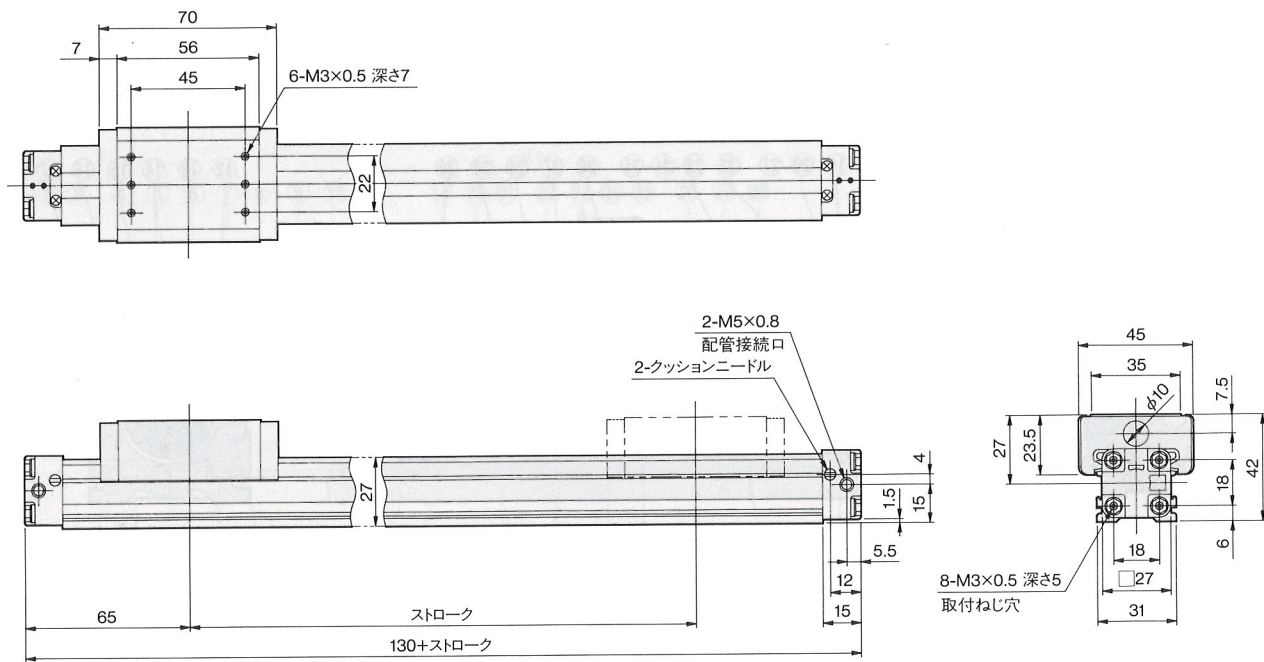
注:形式表示ラベルの貼付されている面の反対側にあります。

No.	名 称	材 質	数量	備 考
⑳	スライダエンドプレート	アルミ合金(アルマイト処理)	2	
㉑	スライダエンドプレート止めねじ	合金鋼	4	φ16のみ
			8	
㉒	スクレーパ押え	ポリアセタール	2	
㉓	スライダ	アルミ合金(アルマイト処理)	1	
㉔	スライダ調整ねじ ^注	合金鋼	3	六角穴付ボタンねじ φ16のみ
			4	六角穴付ボタンねじ
㉕	スライダゆるみ止めねじ	合金鋼	3	六角穴付ボタンねじ φ16のみ
			4	六角穴付ボタンねじ
㉖	マグネット	—	2	
㉗	ピストン	ポリアセタール	2	ウェアリング一体形 (φ40を除く)
		アルミ合金(アルマイト処理)	1	φ40のみ
㉘	ピストンヨーク止めねじ	合金鋼	4	六角穴付ボルト φ40のみ
㉙	ピストンヨーク	アルミ合金(アルマイト処理)	1	
㉚	ウェアリング	ナイロン	2	φ25のみ
		ポリアセタール		φ40のみ
㉛★	クッションガスケット	合成ゴム(NBR)	2	
㉜★	チューブガスケット	合成ゴム(NBR)	2	
㉝★	クッションパッキン	合成ゴム(NBR)	2	
㉞★	ピストンパッキン	合成ゴム(NBR)	2	
㉟★	スクレーパ	合成ゴム(NBR)	2	
㊱★	ベアリングストリップ	ポリエチレン	2	φ16,25のみ
			4	

★: シールキットとして用意されています。

ORG 16 寸法図 (縮尺 1/3, 単位mm)

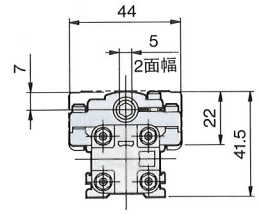
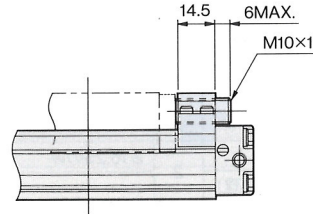
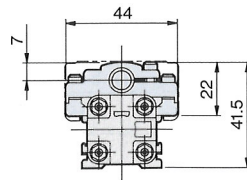
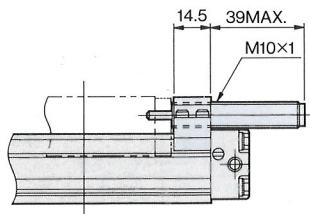
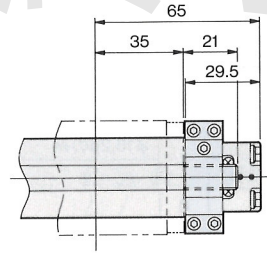
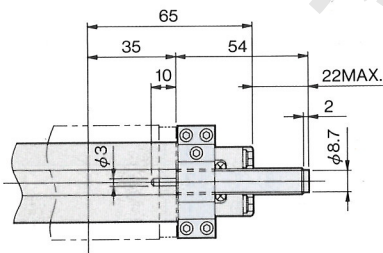
●図はストロークエンドの場合



オプション

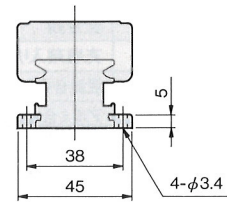
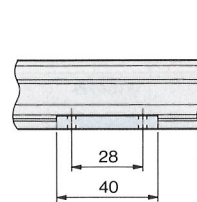
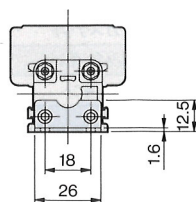
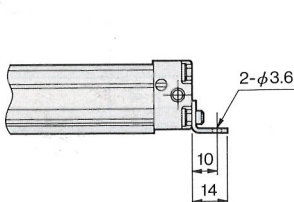
●ショックアブソーバ：-N

●ストローク調節ボルト：-S



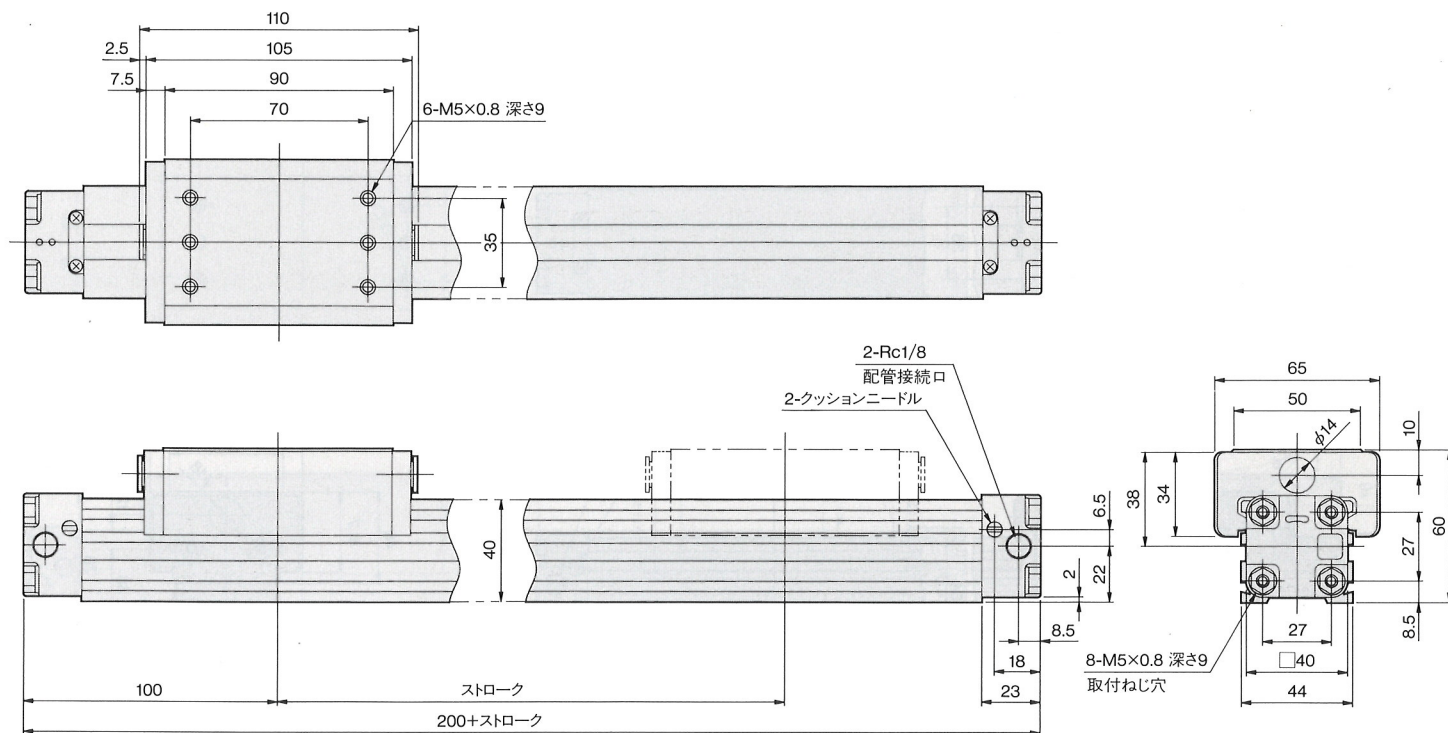
●フット金具：-1

●F形サポート：-F



ORG 25 寸法図 (縮尺 1/3, 単位mm)

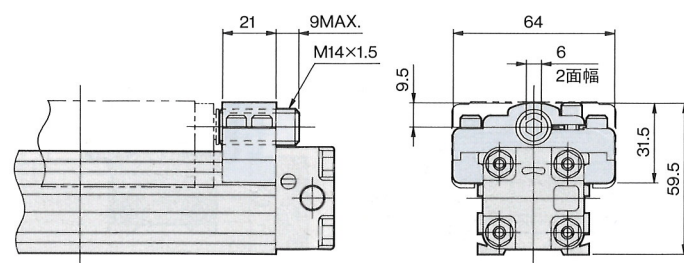
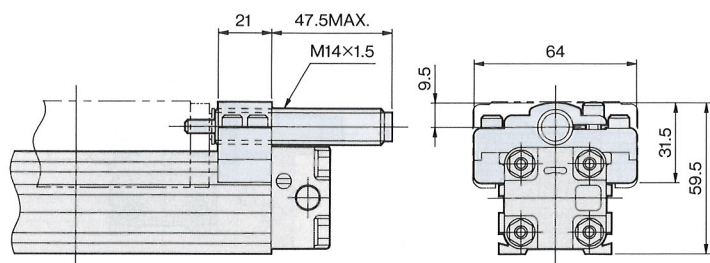
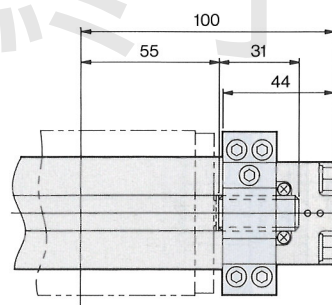
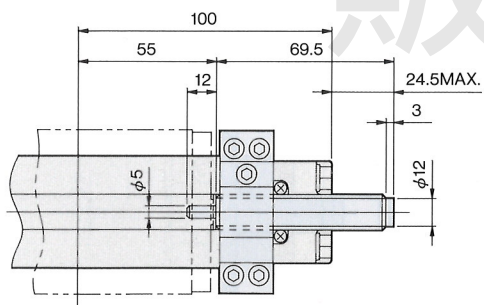
●図はストロークエンドの場合



オプション

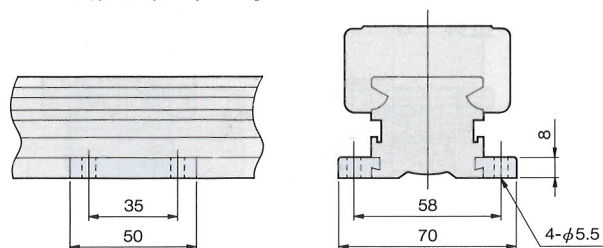
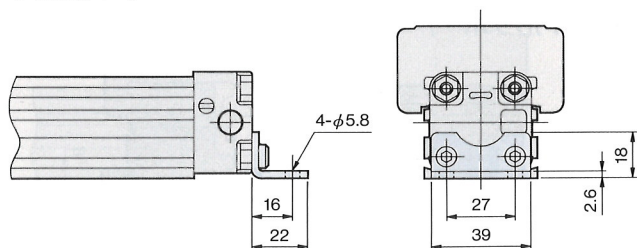
●ショックアブソーバ：-P

●ストローク調節ボルト：-S



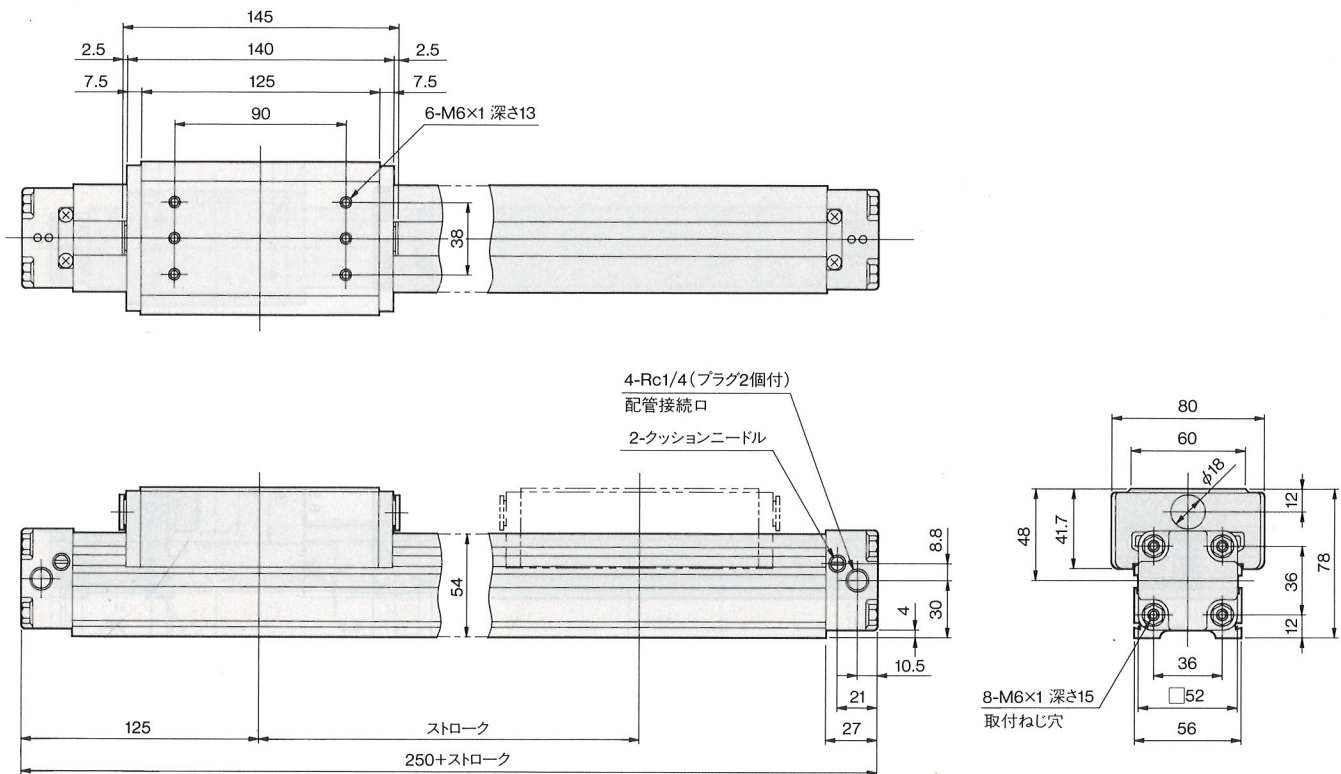
●フット金具：-1

●F形サポート：-F



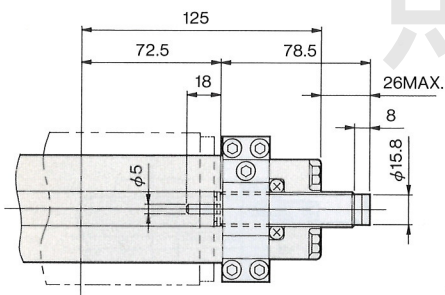
ORG 32 寸法図 (縮尺 1/4, 単位mm)

●図はストロークエンドの場合

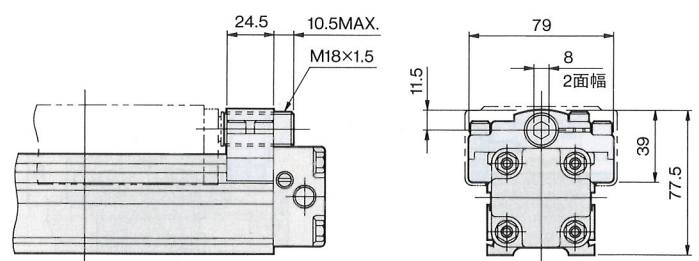
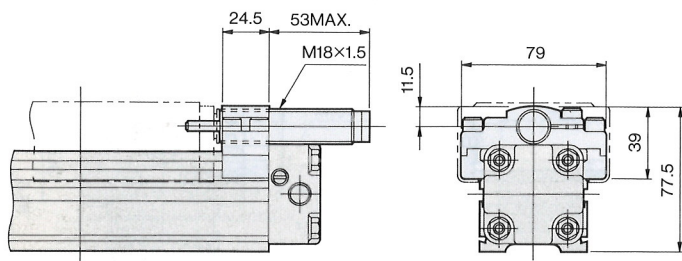
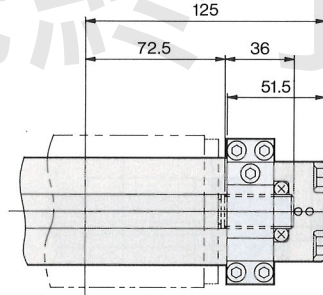


オプション

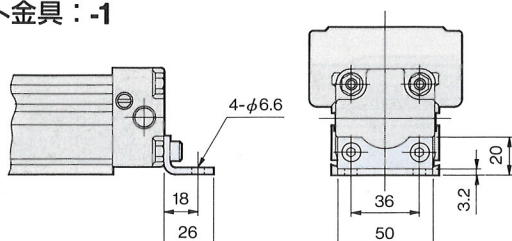
●ショックアブソーバ: -Q



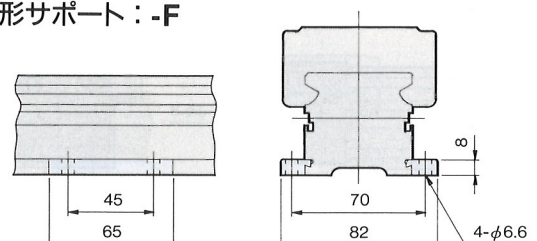
●ストローク調節ボルト: -S



●フット金具: -1

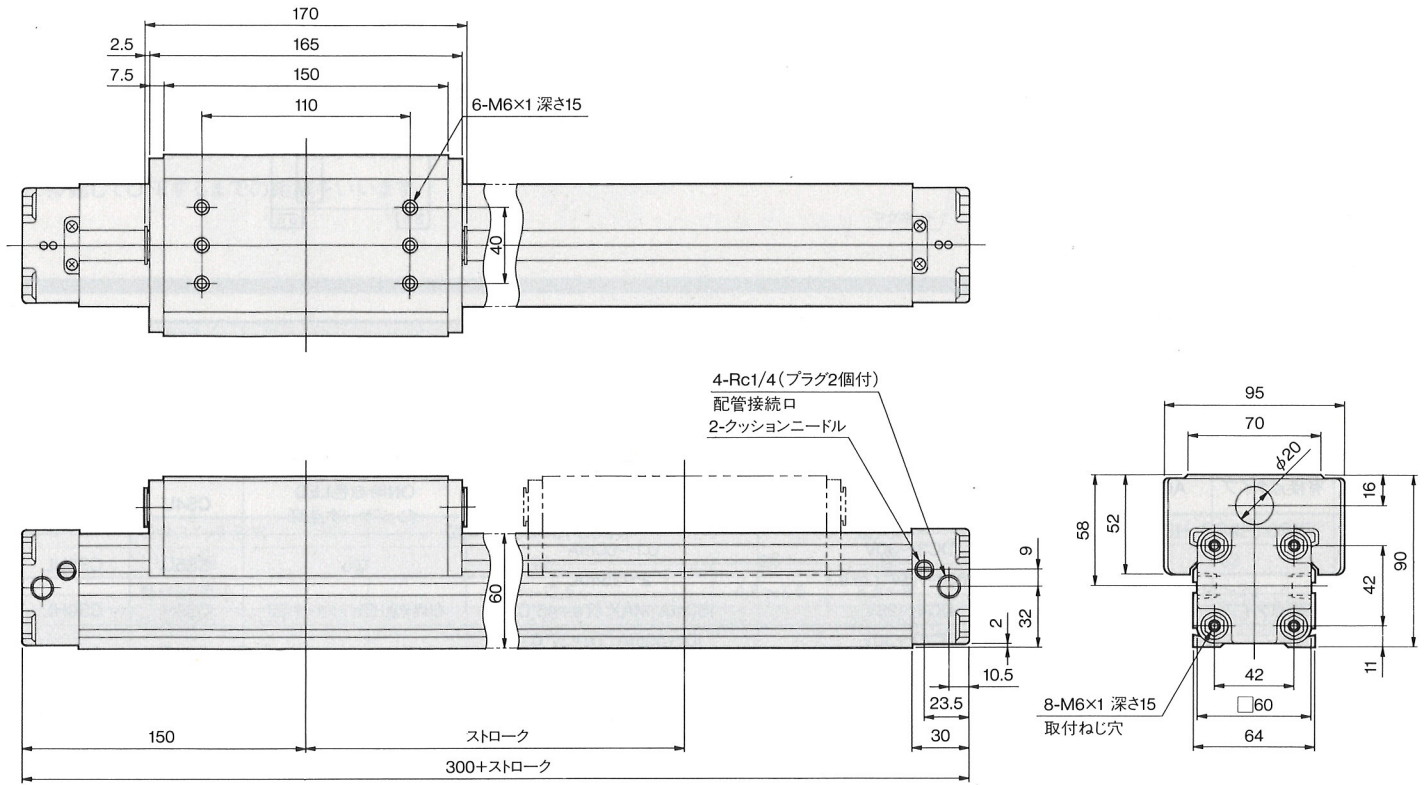


●F形サポート: -F



ORG 40 寸法図 (縮尺 1/4, 単位mm)

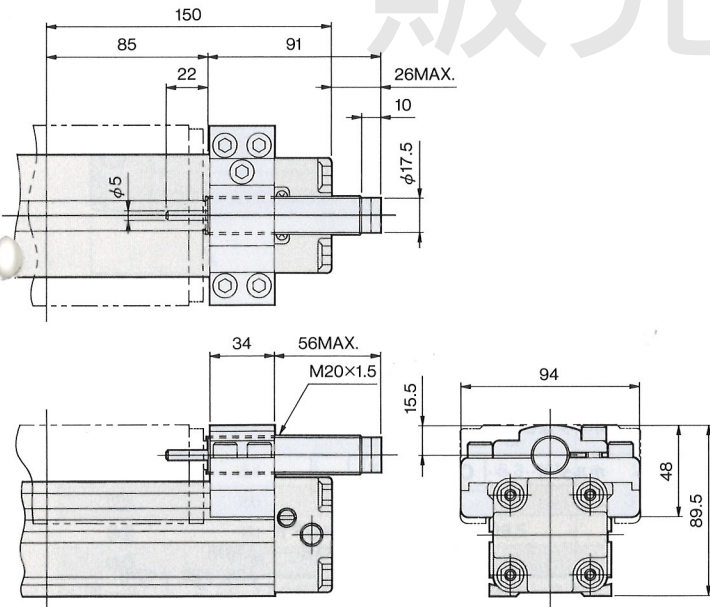
●図はストロークエンドの場合



オプション

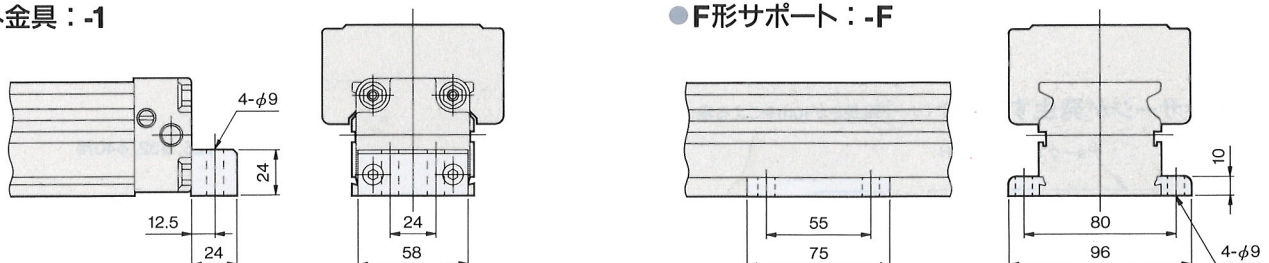
●ショックアブソーバ：-R

●ストローク調節ボルト：-S



●フート金具：-1

●F形サポート：-F

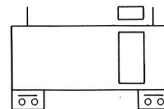


センサスイッチ

無接点タイプ・有接点タイプ

ガイド付ロッドレスシリンダには、あらかじめマグネットが装備されていますので、センサスイッチを取り付けるだけでセンサシリンダとしてご使用になれます。

表示記号

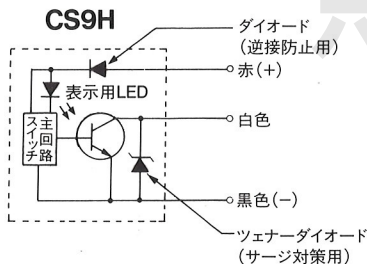


センサスイッチのおもな仕様

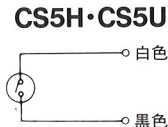
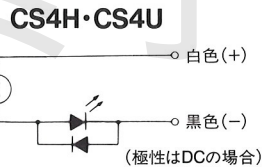
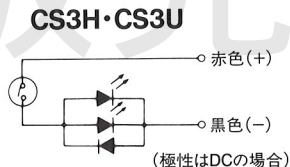
タイプ		おもな仕様				センサスイッチの形式	
		負荷電圧		負荷電流	動作表示灯	リード線1.5m	リード線3m
φ16用	有接点タイプ	AC・DC共用	DC10～30V	10～50mA (Ta=37℃)	ON時赤色LED インジケータ点灯	CS3U	CS3UL
			AC85～115V (r.m.s.)	10～50mA (Ta=37℃)			
			AC115～230V (r.m.s.)	5～15mA (Ta=37℃)			
			DC10～30V	5～25mA (Ta=37℃)	ON時赤色LED インジケータ点灯	CS4U	CS4UL
			AC85～115V (r.m.s.)	5～20mA (Ta=37℃)			
			DC3～30V	0.1～60mA			
AC85～115V (r.m.s.)	2～25mA						
φ25～ φ40用	無接点タイプ	DC専用	DC4～28V	150mA MAX. (Ta=45℃)	ON時赤色LEDインジケータ点灯	CS9H	CS9HL
	有接点タイプ	AC・DC共用	DC10～30V	10～50mA (Ta=37℃)	ON時 赤色LEDインジケータ 点灯	CS3H	CS3HL
			AC85～115V (r.m.s.)	10～50mA (Ta=37℃)			
			DC10～30V	5～25mA (Ta=37℃)			
			AC85～115V (r.m.s.)	5～20mA (Ta=37℃)	なし	CS4H	CS4HL
			DC3～30V	0.1～60mA			
			AC85～115V (r.m.s.)	2～25mA			

内部回路

●無接点タイプ



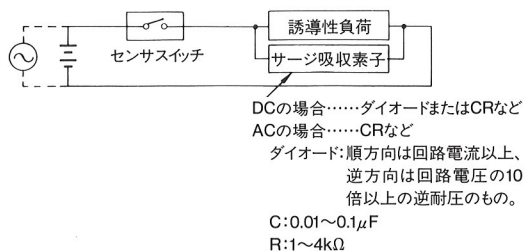
●有接点タイプ



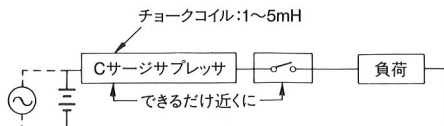
有接点センサスイッチ接点保護対策

有接点センサスイッチを安定してご使用いただくために、下記の接点保護対策を行なってください。

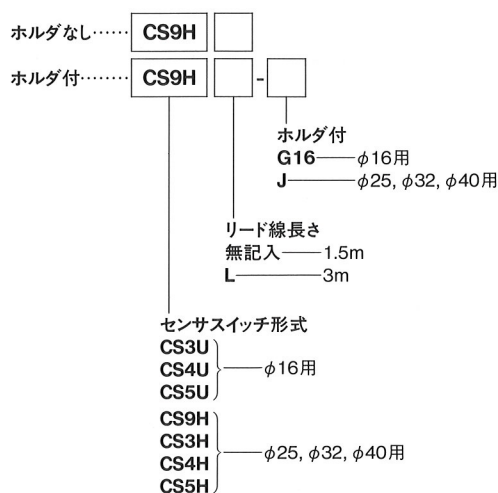
●誘導性負荷(電磁リレー等)を接続する場合



●容量性サージが発生する場合 (リード線長さが10mをこえる場合)



注文記号例



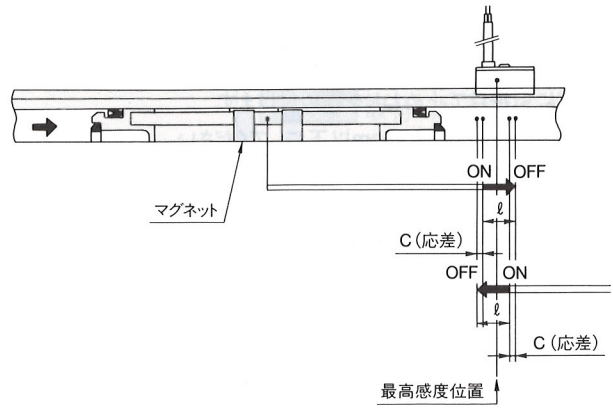
センサスイッチ動作範囲・応差・最高感度位置

●動作範囲:ℓ

ピストンが移動してセンサスイッチがONしてから、さらにピストンが同方向に移動してOFFするまでの範囲をいいます。

●応差:C

ピストンが移動してセンサスイッチがONした位置から、ピストンを逆方向に移動してOFFするまでの距離をいいます。

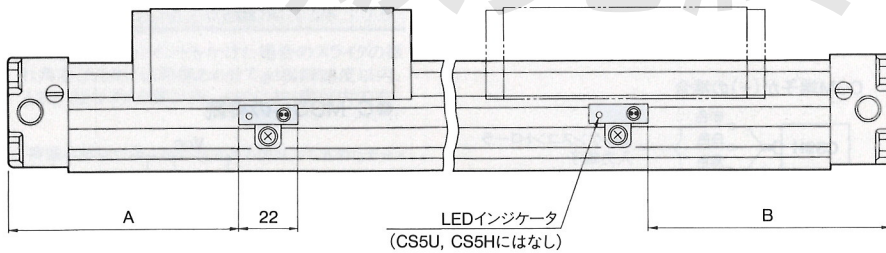


mm							
センサスイッチ形式	CS3U, CS4U, CS5U			CS9H			CS3H, CS4H, CS5H
シリンダ径	16			25	32	40	25 32 40
動作範囲:ℓ	10~12.5			4.5~7.5	6.5~9	7~11	13~19 14~20 17~23
応差:C ^{注1}	1.5			0.5 MAX.			2
最高感度位置 ^{注2}	11			8			8

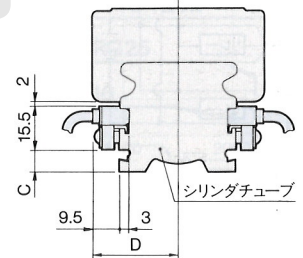
備考:上表は参考値です。
注1:周囲温度25℃のときの値です。
2:リード線側端面からの数値です。

センサスイッチ寸法図・取付位置

センサスイッチを図の位置(表中のA,B寸法は参考値)に取り付けると、ストロークエンドでマグネットがセンサスイッチの最高感度位置にきます。



●φ25, 32, 40

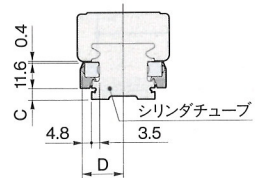


備考:図は、φ40シリンダの場合です。
φ16シリンダではCS3U, CS4U, CS5Uをリード線が内側になるように取り付けてください。

径	記号	A	B	C	D
16		54	54	5.3	21
25		86	92	9	31.5
32		111	117	18.5	37.5
40		136	142	20	41.5

注:同一面にセンサスイッチを2個取り付ける場合の最小ストロークは
φ16は38mm、φ25、32、40は25mmです。

●φ16



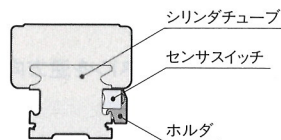
センサスイッチの移動要領

止めねじをゆるめると、ホルダおよびセンサスイッチを取り外すことができます。

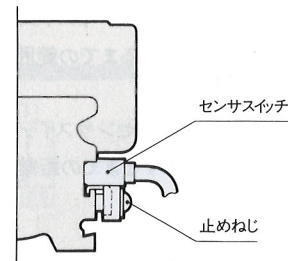
取り付ける場合には、センサスイッチとともにホルダのツメをシリンダチューブの下側の溝に引掛けて止めねじを締め付けます。

止めねじの締め付けトルクは2kgf・cm以下にしてください。

●φ16



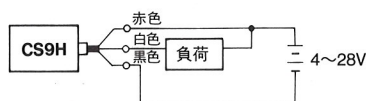
●φ25, φ32, φ40



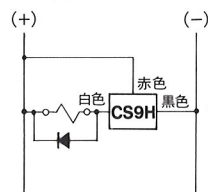
センサスイッチ取付後に必ずガタやゆるみがないかを確認してください。

無接点センサスイッチの結線要領

●基本的な接続

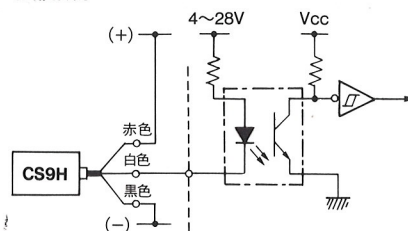


●電磁弁との接続

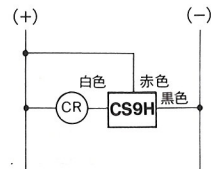


●TTLとの接続

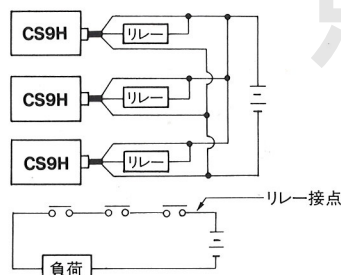
分離接続



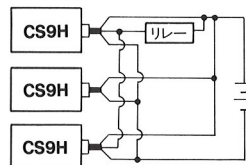
●リレーとの接続



AND(直列)接続

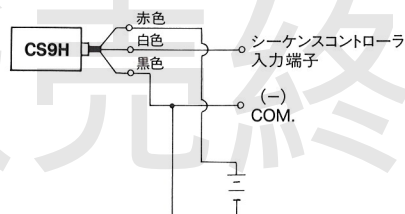


OR(並列)接続

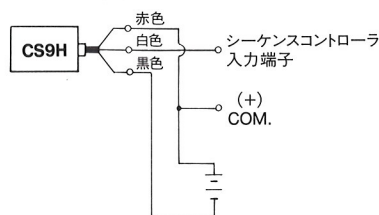


●シーケンスとの接続

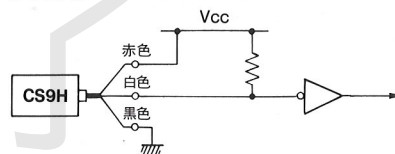
COM端子が(-)の場合



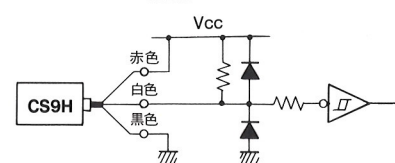
COM端子が(+)の場合



直接接続

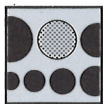


●C-MOSへの接続



1. リード線の色に注意して結線してください。接続を誤ると誤動作や破損の原因となります。
2. TTL, C-MOS等に接続した場合、外来ノイズにより制御系が誤動作することがあります。このような場合は白色リード線にCRによるフィルタ回路を接続してください。
3. 誘導負荷にはサージ対策用保護ダイオードの使用をおすすめします。

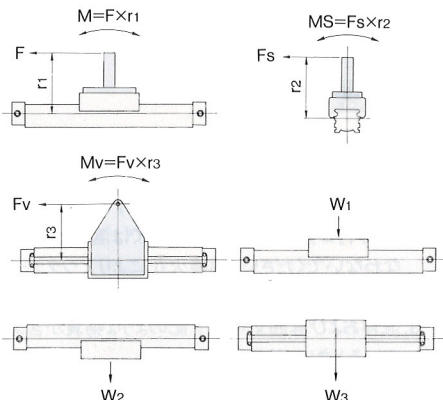
4. 磁気感应形センサスイッチのため、外部磁界の強い場所での使用、および動力線など大電流への接近は避けてください。
5. リード線には強い引張り力や極端な曲げを与えないようにしてください。
6. 化学薬品などの雰囲気での使用は避けてください。
7. 水や油のかかる雰囲気での使用についてはご相談ください。



選定

許容負荷・モーメント

ガイド付ロッドレスシリンダは直接荷重をかけて使用することができますが、荷重およびモーメントがともに下表の値を超えないようにしてください。



最大曲げモーメント: $M = F \times r_1$ [kgf・m]

最大横曲げモーメント: $MS = FS \times r_2$ [kgf・m]

最大振りモーメント: $MV = FV \times r_3$ [kgf・m]

最大荷重: W_1, W_2, W_3 [kgf]

シリンダ径 mm	M kgf・m	MS kgf・m	MV kgf・m	W ₁ kgf	W ₂ kgf	W ₃ kgf
16	0.4	0.15	0.05	8	4	1.2
25	1.5	0.5	0.2	20	10	3
32	3.0	1.0	0.5	32	16	4.8
40	6.0	2.0	0.8	50	25	7.5

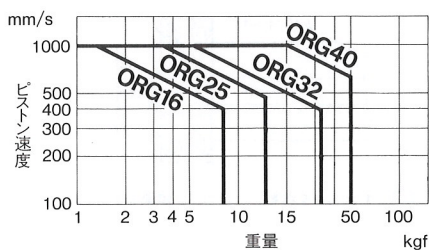
備考: 最大横曲げモーメントをかけた場合のスライダの振れ角度(たおれ)は両側あわせてφ16は約3度以内、φ25, 32は約1.5度以内、φ40は約1度以内です。

荷重の移動や停止時に発生する慣性力も含めたモーメントが、上表の値を超えないようにしてください。荷重とピストン速度については「クッション能力」をご覧ください。

クッション能力

ガイド付ロッドレスシリンダには、すべて標準で可変クッションが装備されていますが、吸収できる重量と速度はグラフの下側の範囲です。これを超える場合は、ショックアブソーバ付を使用してください。

シリンダ径	クッションストローク
16	15
25	17
32	25
40	32



- ガイド付ロッドレスシリンダの最高使用速度は1000mm/sです。これを超える場合はご相談ください。
- グラフ中の重量とは、ガイド付ロッドレスシリンダにより移動される全重量です。ガイド付ロッドレスシリンダに直接かかる負荷とは異なりますのでご注意ください。
- クッションは、ピストン速度と荷重に合わせて調節し、衝撃を有効に吸収できるようにしてください。



取付・メンテナンス

取付

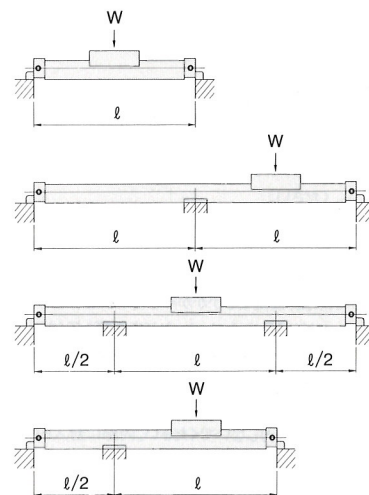
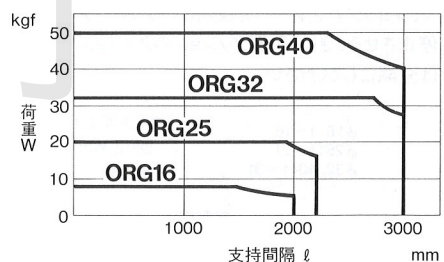
- 取付姿勢は自由ですが、水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所に取り付けるときは、スライダが下向きとなるような取付けをおすすめします。
- ガイド付ロッドレスシリンダ取付後の電気溶接は、絶対に避けてください。電流がシリンダを流れ、インナシールバンド、アウトシールバンドとシリンダチューブとの間にスパークが発生し、シールバンドを破損します。

シリンダチューブのスリット部には強い衝撃を与えないでください。

サポート

ストロークが長く、荷重が大きいと、シリンダチューブにたわみを生ずる場合があります。支持間隔: ℓ がグラフの値を超える場合は中間にF形サポートを取り付けて支持してください。

シリンダ径	支持間隔: ℓ
16	ストローク+130
25	ストローク+200
32	ストローク+250
40	ストローク+300



- 支持間隔がφ16: 2000mmを、φ25: 2200mmを、φ32, 40: 3000mmを超える場合には、荷重にかかわらず必ず中間にF形サポートを取り付けてください。
- 平面に取り付ける場合も支持間隔: ℓ がグラフの値を超えときは、シリンダチューブにねじれが発生することがありますので、中間にF形サポートを取り付けてください。

中間停止制御

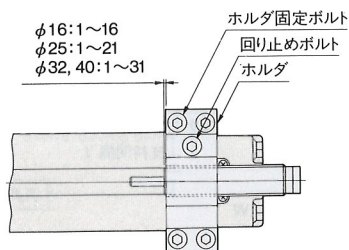
ガイド付ロッドレスシリンダは、構造上エアの外部漏れがありますので、オールポートブロックの3ポジションバルブなどによる中間停止制御では、停止位置が保持できないなどの不具合が発生します。PAB接続の3ポジションバルブなどを用いた、両側加圧制御回路としてください。

垂直取付などにより、常時荷重がかかる場合の中間停止制御回路についてはご相談ください。

ストローク調節

● ショックアブソーバ付の場合

ショックアブソーバ付では、全ストロークにわたって、ストロークが容易に調節できます。はじめに、ホルダ固定ボルトを4本ともゆるめてホルダを移動し、大まかにストロークを決め、ホルダ固定ボルトを締め付けて、ホルダを固定します。つぎに、回り止めボルトをゆるめて、手またはレンチなどでショックアブソーバを回転させて微調節します。調節後は、回り止めボルトを締め付けて、ショックアブソーバを固定します。微調節範囲は、φ16:片側15mm、φ25:片側20mm、φ32, 40:片側30mmです。この範囲を超えて調節する場合は、ホルダを移動してください。ショックアブソーバと可変クッションを併用すると、バウンドすることがありますので、ショックアブソーバを使用して、ストロークエンドで停止させるときは、可変クッションのクッションニードルは全開にしてください。



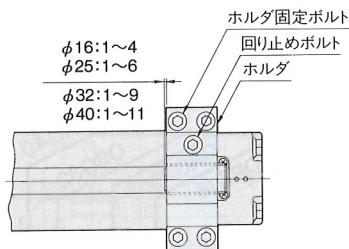
1. スライダが、ショックアブソーバ端面の全面に当たるように、ホルダ固定ボルトは、4本を均一に締め付けてください。
2. ショックアブソーバは、必ず仕様の範囲内で使用してください。
3. ショックアブソーバに衝突する瞬間の速度が1m/sを超えないようにしてください。シリンダの平均速度とは大きく異なる場合がありますので、注意してください。
4. 水滴、油滴などがかかる場合や粉塵が多い場所に取り付けるときは、カバーなどで保護してください。ショックアブソーバのロッドに水、油、粉塵が付着すると寿命が短くなります。
5. ショックアブソーバ後端面の止めねじは、ゆるめたり取り外したりしないでください。内部に封入されているオイルが漏れ出してショックアブソーバの機能を損ないます。

ホルダ固定ボルト締め付けトルク kgf・cm

シリンダ径	締め付けトルク
16	12
25	60
32	100
40	200

● ストローク調節ボルト付の場合

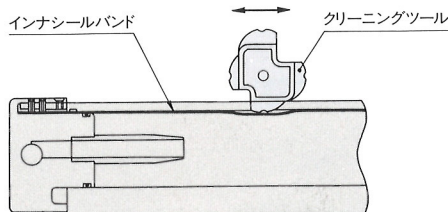
ストローク調節ボルト付では、ストロークエンドでのストローク微調節が可能です。回り止めボルトをゆるめて、ストローク調節ボルトを回転させて微調節し、調節後は回り止めボルトを締め付けて、ストローク調節ボルトを固定します。微調節範囲は、φ16:片側3mm、φ25:片側5mm、φ32:片側8mm、φ40:片側10mmです。



1. ホルダを移動してストローク調節をすることはできません。広い範囲にわたるストローク調節が必要な場合にはショックアブソーバ付を使用してください。
2. ストロークを微調節するとクッションストロークが短くなり、可変クッションの吸収能力が低下します。ストローク調節量を最大にするとクッション能力は30%減少します。

メンテナンス

ガイド付ロッドレスシリンダは、構造上エアの外部漏れを完全に止めることは困難ですが、初期的なエア漏れの原因のほとんどであるインナシールバンドに付着した、ゴミなどは簡単に取り除くことができます。はじめに、アウトシールバンド止めねじをゆるめてアウトシールバンドを取り外し、ガイド付ロッドレスシリンダに1kgf/cm²程度の使用圧力を印加します。次に、クリーニングツールをシリンダチューブスリットのエア漏れ箇所に入れて押し下げ、スリットにそって動かし、エアでゴミを吹きとばします。



1. 必ず保護メガネを使用してください。
2. メンテナンスには、付属の専用クリーニングツールを使用するようにしてください。ドライバーなどを使用すると、インナシールバンドやシリンダチューブを損傷することがあります。
3. 上記のメンテナンスを行ってもエア漏れが止まらない場合などは、取扱説明書に従ってオーバーホールしてください。

スライダの調整

ガイドはあらかじめすきま量が規定の値になるように調整されていますが、使用中にスライダ部分の振れが大きくなってきた場合には、調整することができます。調整する場合には、取扱説明書をご覧ください。



一般注意事項

配管

ガイド付ロッドレスシリンダに配管する前に、必ず配管内のフラッシング(圧縮空気の吹き流し)を十分に行なってください。配管作業中に発生した切り屑やシールテープ、錆などが混入すると、空気漏れなどの作動不良の原因となります。

雰囲気

1. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するときは、カバーなどで保護するか、スライダが下向きとなるように取り付けてください。
2. ガイド付ロッドレスシリンダの近くでは溶接作業を行わないでください。溶接火花によりアウトシールバンドが破損することがあります。
3. 流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは、使用できません。
有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・酸類

潤滑

シリンダ速度が500mm/s以下の場合には無給油で使用できますが、500mm/s以上の速度で使用する場合は、下記の推奨油を給油してください。

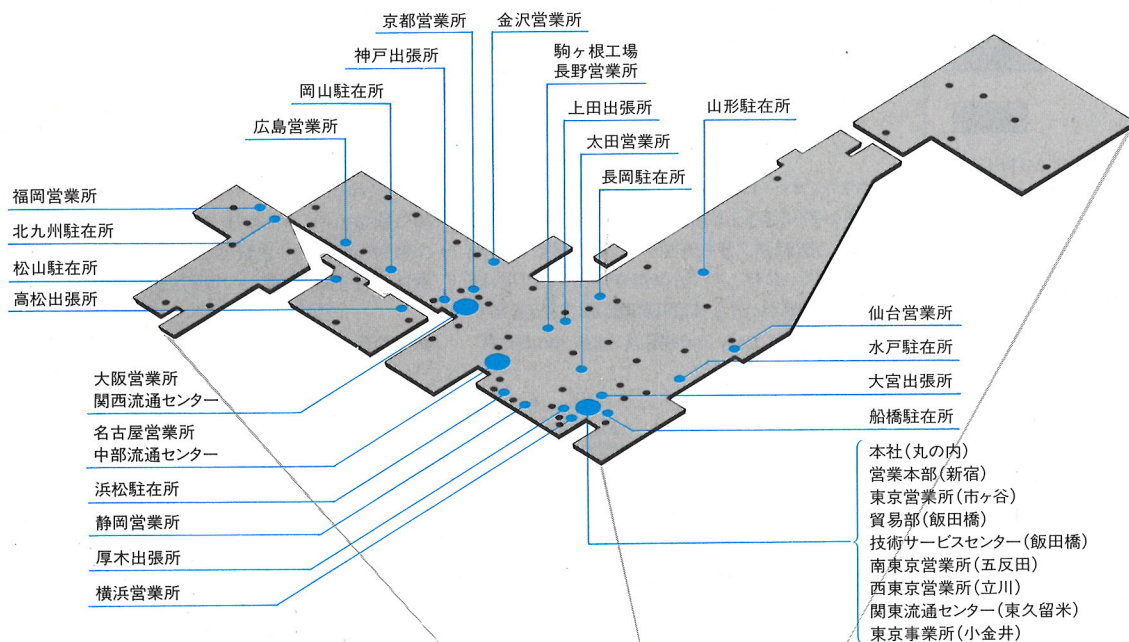
推奨油

出光興産:ダフニーロックドリル32
昭和シェル石油:ロックドリルオイル32
モービル石油:アルモ525
その他:上記相当品

空気源

1. 使用流体は空気を使用し、それ以外の流体の場合はご相談ください。
2. ガイド付ロッドレスシリンダに使用される空気は、劣化したコンプレッサ油などを含まない清浄な空気を使用してください。ガイド付ロッドレスシリンダやバルブの近くにエアフィルタ(ろ過度40μm以下)を取り付けてドレンやゴミを取り除いてください。また、エアフィルタのドレン抜きは定期的に行なってください。

国内外を信頼で結ぶ コガネイ・サービスネット



WORLD WIDE SERVICE NET WORK



※海外拠点についての詳細は弊社営業所へお問い合わせください。

空気圧システム機器の総合メーカー

コガネイ

株式会社 小金井製作所

●このカタログは1990年10月現在のものです。

●記載されている仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

○本社：東京(丸の内)

○営業本部：東京(新宿)

○東京営業所

162

東京都新宿区市ヶ谷本町3-23 ヴォーグビル

☎<03> 267-9691

○南東京営業所

141

東京都品川区東五反田2-3-3 ビックナインビル

☎<03> 444-5881

○西東京営業所

190

東京都立川市錦町2-3-3 オリニック錦町ビル

☎<0425> 27-6041

○横浜営業所

222

横浜市港北区新横浜3-16-10 京浜建物第3ビル

☎<045> 471-5371

○厚木出張所

243

神奈川県厚木市岡田1932-2 厚木中央ビル

☎<0462> 29-7273

○大宮出張所

330

埼玉県大宮市宮原町3-567-4 小山ビル

☎<048> 652-4051

○長野営業所

399-41

長野県駒ヶ根市飯坂2-6-1

☎<0265> 83-7111

○上田出張所

386

長野県上田市中央西2-6-7 グリーンビル

☎<0268> 23-5800

○太田営業所

373

群馬県太田市新井町515-9

☎<0276> 46-5422

○仙台営業所

983

仙台市若林区卸町1-6-15 卸町セントラルビル

☎<022> 232-0441

○大阪営業所

550

大阪市西区新町1-2-13 新町ビル

☎<06> 531-6844

○京都営業所

600

京都市下京区五条通堀川西入柿本町618 芝慶ビル

☎<075> 811-6410

○高松出張所

760

香川県高松市塩上町3-2-2 中村第一ビル

☎<0878> 33-2535

○神戸出張所

651

神戸市中央区布引町2-1-7 ソーラービル

☎<078> 232-7407

○名古屋営業所

460

名古屋市中区金山1-7-10 金山名藤ビル

☎<052> 322-4444

○金沢営業所

921

石川県金沢市玉鋸2-2 第2平和ビル

☎<0762> 92-1193

○静岡営業所

422

静岡市曲金2-2-20 山本ビル

☎<054> 286-6041

○広島営業所

730

広島市中区十日市町2-1-31 沖田ビル

☎<082> 291-1531

○福岡営業所

812

福岡市博多区博多駅前2-19-29 博多相互ビル

☎<092> 411-5526

駐在所 ○山形

○水戸

○船橋

○長岡

○浜松

○岡山

○松山

○北九州

○貿易部

162

東京都新宿区揚場町1-21 飯田橋本ビル

☎<03> 267-4661

○技術サービスセンター

162

東京都新宿区揚場町1-21 飯田橋本ビル

☎<03> 267-4444

流通センター

○東京

○大阪

○名古屋

工場

○東京(小金井)

○長野(駒ヶ根)